



エコ発信局 ～いそちゃんの部屋～

ここでは、身近なところから環境意識を高めようと、エコに関する豆知識を発信しています。季節やブームなどに合わせて、月に一度のペースで更新していきますので、継続してお読みいただければ幸いです。

(「いそちゃん」とは執筆を担当する千葉大学環境 ISO 学生委員会のキャラクターです)

Vol.10-2018 年 6 月 エコドライブ

エコドライブを心掛けよう！

6 月といえば梅雨ですね。どこかジメジメした気候が続き、雨もなかなか降りやみません。そんな梅雨に出かける際には、雨に濡れないよう自動車を使う機会が増えると思います。そこで今回は、環境に配慮した車の乗り方「エコドライブ」を紹介します。エコドライブは二酸化炭素を減らす運転ですので、結果的に燃費の向上にもつながります。環境にも財布にも優しい、快適なドライブを！



1

発進時に注意

自動車が発進する際の燃料消費量は、なんと全体の約 4 割を占めます(*)。裏を返せば、発進に気を付けることで大きく燃費の向上に貢献するのです。発進の際に肝心のポイントは、「アクセルをゆっくり踏む」ことです。足の裏がきちんとペダルに接する形にしたうえで、速度の上昇に合わせて徐々に踏み込むようにしましょう。運転にちょうどいい速度に近づいたら、早めにアクセルをゆるめることも大事です。



2

重量を減らす

運転時の操作も重要ですが、それ以外の点もエコドライブには関連します。重量もその一つです。当然のことですが、車は重いほど燃料を消費します。余分な荷物は積みこまず身軽にしてから運転しましょう。見落としがちですが、燃料も荷物になります。燃料は必要な分だけ入れ、遠出など場合によっては満タンにしないという選択肢もあります。



3

タイヤもこまめにチェック

タイヤの空気圧が低下すると、燃料消費量は増加します。1 か月に一度など定期的に確認することが必要です。空気圧はガソリンスタンドで測定できるので、給油のついでに測ってみるのもおすすめです。なお、適正空気圧は運転席のドア付近に表示されています。

一方で、空気圧を高くし過ぎると乗り心地やブレーキの利きが悪くなるケースもあります。それらにも配慮して、適度なタイヤ空気圧を探りましょう。



環境 ISO 学生委員会の緑化活動

環境 ISO 学生委員会は、学内でさまざまな緑化活動に取り組んでいます。緑化は二酸化炭素対策になるだけでなく、景観を向上させたり、人々の目を楽しませたりする効果もあります。植物の種類によっては、食べ物を作ることにもなりますね。

1

フラワープランター企画

学生委員会が、花苗・プランター・培養土などの植栽に必要なもの一式をプランターの配置を希望する事務部や研究室にお届けする企画です。プランターは構内の人通りの多いところに設置されることも多く、通りがかる生徒や教職員を楽しませています。



2

緑のカーテン

ご存知の方も多いかと思いますが、緑のカーテンとはゴーヤや朝顔を育てて作る植物のカーテンです。毎年学生委員会のメンバーがゴーヤを種から育てており、水やりや追肥などの管理・測定をしています。緑のカーテンは遮光の役割を果たすので室内温度の低下に貢献し、夏場に壁一面を覆うほどに成長したカーテンの内と外では約5℃の差があることが計測されています。

また、希望者にはゴーヤの実を配布しており、お腹を満たすのにも一役買っています。まさに一石二鳥ですね。



3

おひさまガーデン

おひさまガーデンは、松戸キャンパス北門を入り、坂を上りきったところの左手にある庭園です。学生委員会が植物を育てており、春はチューリップ、夏はひまわり、秋はハーブ類、冬はパンジーをメインに多様な植物を育てています。その四季折々に変化する姿は、学生のみならずキャンパスを訪れる人々をも楽しませています。

おひさまガーデンは、専門家のアドバイスのもと、学生主体での除草・花苗の植え付け、多年草の管理などさまざまな作業によって維持されています。



*参照：一般財団法人 省エネルギーセンターHP

執筆：浅輪光（千葉大学環境 ISO 学生委員会 3 年）